

金融商品の
取扱説明書
トリセツ

第39回

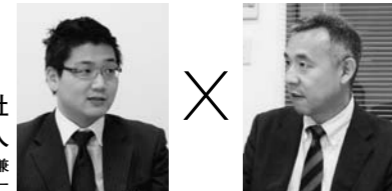
「トレンド・アロケーション・オープン」
国際投信投資顧問株式会社

NISA向けの投資信託として、国際投信投資顧問が取り扱う「トレンド・アロケーション・オープン（トレアロ）」。
世界各国の株式・債券・リート等の幅広い資産を投資対象とし、市場環境に応じて機動的な資産配分を行うファンドである。

「トレアロ」の開発の経緯や運用戦略、国際投信が考える資産形成層の資産運用などについてファイナンシャル・プランナーの杉山明さんに質問していただいた。

杉山明
Interviewer

すぎやま・あきら / バームスコアボレーショ
ン取締役社長・CFP®。生命保険と投資信託の商品開発に従事した経験とファイナンス理論に基づいた商品分析能力に定評がある。メールマガジン「1ランク上の生命保険と資産運用の話」はプロの読者も多いロングセラー。



国際投信投資顧問株式会社
佐藤成人
プロダクト・マーケティング部 兼
NISA推進室NISA推進マネージャー



損失を抑える機能などで
長期投資の実現をサポート

杉山 御社では、「トレンド・アロケーション・オープン（以下、トレアロ）」を、NISA向けの投資信託としてマーケティングされていますが、やはり、NISAのスタートが開発のきっかけなのでしょうか？

佐藤 「トレアロ」が持つ「自動的にリバランス」「市場環境に合わせた資産配分」「下落時のリスク管理」という特徴から、NISAにぴったりのファンドだと考えています。

しかし、開発の初期段階では、「NISAだから「トレアロ」ではありませんでした。元々は、資産形成層が「中長期的な資産運用が簡単にできる方法はないか」を考えたのが「トレアロ」の開発のきっかけです。

長期投資を続けるには、リバランスが必要になります。しかし、お仕事や趣味等でお忙しい日々を

過ごされる方にとって、資産運用は生活の中心ではありません。そのため、リバランスに多くの労力を割けないのが実情です。これでは「資産運用は手間がかかるもの」と思われてしまいます。

これに対し、自動的にリバランスが行われる「バランス型ファンド」があります。これで十分かというと、そうでもありません。リーマン・ショックなど大きな金融危機が起きると、バランス型ファンドでも値を大きく下げてしまいます。すると、投資経験の浅いお客さまは、その損失に耐えられず、投資をやめてしまいます。これでは、お客さまの中長期的な資産運用を実現できません。

こうした点から、資産形成層に長期投資を行ってもらうためには、「リバランスを自動的に行う」とことに加え、「損失を抑える仕組みがある」ことが重要です。こうした長期投資を続けてもらうために必要なことがすべて詰め込まれているのが「トレアロ」なのです。

杉山 「トレアロ」は、「負けにくい投資」を目指す3つの運用戦略により

「負けにくい投資」を「負けにくい投資」を実践するために、3つの運用戦略を採用していますね（図表1）。お客さまに、これら

どんな工夫が必要でしょうか？
佐藤 その工夫の一例として、資産運用をドライブに例えて説明するとよいでしょう。

図表1 「トレアロ」の運用戦略の概要

基本資産配分（トレンド・アロケーション）

① 資産クラス分け
投資対象を、各資産のリスクに基づき、低リスク資産クラスと高リスク資産クラスに分類します。

低リスク資産クラス

- 先進国債
- ヘッジファンド
- 短期債券・キャッシュ等

高リスク資産クラス

- 先進国株式
- 新興国株式
- 新興国債
- 先進国リート
- コモディティ(金や原油等の資源)等

② 両資産クラス内の各資産の配分比率を決定
各資産の値動きの方向性等に基づき、低リスク資産ポートフォリオと高リスク資産ポートフォリオ、2種類のポートフォリオを構築します。

低リスク資産
ポートフォリオ

高リスク資産
ポートフォリオ

③ 基本配分比率の決定
2つの資産クラスポートフォリオを組み合わせて、当ファンドの基本的な配分比率が決まります。
配分比率は値動きの方向性等に基づいて、両資産クラスポートフォリオを0～100%の間で調整します。

○当ファンドではより安定的な資産成長を目指して、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行っています。

基本資産配分に対する微調整（タクティカル・アセット・アロケーション）

経済環境や市場環境等について定性・定量分析による将来予想を行い、「市場の転換点」をとらえます。

基本資産配分（トレンド・アロケーション）で決定した比率からポートフォリオの調整（±10%以内）を行い、補完戦略としてパフォーマンスの向上を図ります。

低リスク資産ポートフォリオの配分比率を引き上げる場合のイメージ

トレンド・アロケーションを経たポートフォリオ

↓

低リスク資産ポートフォリオの配分比率を引上げ

下落リスクへの対応（ダウンサイド・リスク・マネジメント）

過去一年の高値からの下落率が15%以内に収まることを目指します。

低リスク資産と高リスク資産の配分比率を維持したまま、短期債券・キャッシュの組入比率を高めます。

これにより、下落時のファンドの値動きが穏やかになることが期待されます。

短期債券・キャッシュを組み入れる場合のイメージ

タクティカル・アセット・アロケーションを経たポートフォリオ

↓

短期債券・キャッシュ

高リスク資産ポートフォリオ

低リスク資産ポートフォリオ

販売用資料より抜粋

資産運用に「老後の資金を確保する」などの目的があるように、ドライブにも「東京から仙台に行く」など目的地があります。安全に目的地に着くためには、大きく3つのことを考えなければなりません。

まず、「最適な道選び」です。一つの道しか使わないということだと、事故や渋滞等で道路が通れなくなったり身動きが取れなくなってしまう。そこで、ドライブでは、適時「どの道を行くのが適切か」を知るためにカーナビを利用していただく。

資産運用でも同じです。一つの資産だけに投資すると、何か起きたときに大きな損失を被ってしまいます。そこで、分散投資をベースとしつつ、様々な資産の中から「どの資産配分がいま適切なのか」を選んで運用しなければなりません。「トレアロ」では、その時々々の各資産のトレンドを基に、定量的な分析を行い、基本資産配分を決定していきます。